

学習日： 月 日 天気：

組 番：氏名

4 気象災害への備え（教科書 P. 200-205）を読んで次の問いにチャレンジしよう。

【気象現象による災害】

気象現象		気象災害
雨	大雨、集中豪雨	洪水、浸水、土砂くずれ
	長雨や少雨	農作物への被害
風	台風 ^{☆1} による強風、竜巻、高波	農作物への被害、住宅への被害
気温	酷暑	人や動物への被害（熱中症）
	冷害	作物への被害
雪	大雪	建物の倒壊、交通機関への影響
	雪どけ	なだれ、洪水
雷	落雷	人や建物への被害、停電や火災
ひょう・あられ		農作物や建物への被害
高潮 ^{☆2}		浸水

☆1 台風（P. 200）の解説

- ・台風が遠くにあっても（① ）が日本列島にかかっていると、大量の（② 乾いた・湿った）空気が流れこみ、大雨を降らせることがある。
- ・台風が来ていなくても、（③ ）の近くなどで（④ ）が次々に発達し、大雨が降ることがある。

☆2 台風の中心付近では、高潮が起こることがある。これはなぜか。「気圧」というキーワードを使って説明しよう。（P. 200、17 行目）

⑤台風の中心付近では、

【気象災害を防ぐために】

- ・ふだんから災害に対する備えをしておく。
- ・気象庁の出す注意報、警報、特別警報を知って役立てる。
- ・自分たちが住んでいる地域の（⑥）を日ごろからよく見ておく。
- ・各自治体からの指示に従う。

気象現象を止めることはできないが、気象災害による被害を少なくすることはできる!!



答え：①前線②湿った③前線④雨雲⑥ハザードマップ

⑤台風の中心付近では、気圧が低いために、海面が上昇するから。